

世田谷・九条の会

世田谷・九条の会
ニュース No.49
2018年5月28日発行
(題字 西山簡石)

●事務局 〒154-0017 世田谷区世田谷 1-11-16 世田谷民商気付
Tel:03-6413-9547 Fax:03-6413-9548 Mail:setagaya-9jou@kzh.biglobe.ne.jp
●ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~setgagaya-9jou>
●郵便振替口座 記番号 00110-5-260741 世田谷・九条の会

私にとって「空気のような」九条

嬉野 京子

事前打合せも出来ずに、五月の連休明けに都内のある大学で、ぶっつけ本番の講演。二百人を超える学生の私語でざわついていた教室、七七歳のバアさんの話しは集中して聴いてくれた。

二・三年生が大半で、一・四年生も入った「伝えられない声を聞く」という特別授業。沖縄の報告が主体だったものの、ネット時代の学生たちはショックだったようで、A4裏表百枚を超えるレポートのコピーは、学生たちの「今」が溢れていた。



アメリカのトランプが、大統領とは想えぬ罵詈雑言をネット上で発信し続け、ニュースで問題視され、私のような年寄りにも届けられるが、日本の首相と取り巻き達のフェイク・ニュースもネット上に溢れ席捲。新聞や活字媒体を敬遠しがちな若者たちへの、話しかけや声かけの重要性を感じずには居られない。

政府専用機に、商社マンを同行させ、原発建設の商談に忙しい首相に、九条をイジらせない為にも、「酸欠」になる前に、若者たちへの声かけ、語りかけが、もっとも重要のようです。

五十年以上係わってきた「沖縄」。幸運にもバトンを引き継ぎたいという若者が現れ、ドキュメンタリー映画「OKINAWA1965」が、7月7日から二週間、朝十時半から渋谷の映画館アップリンクで公開されます。
(報道写真家)

2月以降の世田谷区内の取り組み経過

5月19日（土）、2018年第二回目の区内九条の会交流会が開かれ、まつざわ、弦巻・新町、桜丘、成城・祖師谷、代田、代沢、砧・大蔵、世田谷の8つの九条の会から11人が出席しました（右写真）。



2月の交流会以降、国会審議を通じて、森友・加計疑惑では決裁文書の改ざん、首相補佐官の偽りの国会答弁、財務省高官のセクハラ、また廃棄したとされた自衛隊の日報が、実は隠されていたことなど、あり得ない事態が次々と明らかにされて来ました。これを受けて、国民の安倍内閣に対する不支持が強まり、すべての世論調査で、支持を大きく上まわり、国会前の大抗議行動（4/14：5万人）、憲法集会（5/3：6万人）につながりました。

九条の会は、3月30日にアピールを発表し、自民党改憲草案が持つ問題点を指摘した後、次のようにまとめて、世論の喚起を促しています。

『先の戦争における日本人310万人、日本の侵略によってもたらしたアジア諸国民2000万人という痛恨の犠牲への深い反省にたって定められた9条をこのような形で改悪することは絶対に容認できません。

安倍政権は森友文書の改ざん問題をはじめとした数々の悪政により追い詰められ、改憲強行のスケジュールも大幅に後退を余儀なくされています。しかし、安倍政権が続く限り改憲の動きは止みません。この歴史逆行の企てを許さない保障は、いまおこなわれている森友問題糾弾の世論をさらに高めることとあわせ、九条の会も参加する「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が取り組む3000万署名を必ず達成し、9条改憲の国会発議を許さない大きな世論を作り上げることです。そして安倍首相を退陣に追い込むことです。』

これを受けて、世田谷区でも、戦争させない！九条こわすな！世田谷連絡会主催の学習会（2/15：高田健氏講演：56名）と区民集会&パレード（3/18：500名）、また世田谷・九条の会と世田谷革新懇が呼びかけた統一署名活動推進のつどい（4/13：平井正氏講演：80名）、生かそう憲法！今こそ9条を！世田谷の会の講演会（5/11：望月衣塑子氏講演：180名）が大きな行動としてありました。

交流会では、それぞれの地域で取り組まれた学習会（まつざわ、弦巻・新町、成城・祖師谷、代田）、定期的な街頭宣伝（まつざわ、代沢、代田、成城祖師谷）や、団地での署名活動（成城・祖師谷、ヒバクシャ国際署名）の様子が紹介されました。中では、映像を使った学習会（まつざわ）、配布するちらしやニュースの工夫（代沢、まつざわ）で参加者の理解が深まったり、ちらしの受け取りが良くなったという報告がありました。弦巻・新町での小森陽一さんの講演会（3/22 右写真）にはおよそ 50 名の参加があり、「学生への働きかけには根気がある」という大学での苦労話が興味深かったとの感想が伝えられました。



話題として、「区の公営掲示板に学習会の掲載を申請したときに、表題や文面の修正が求められた」経験が複数あがり、これにどう対応するか、また、「広い区内には、九条の会のような運動体ができていない地域があるが、そのようなところで、住民の気持をまとめるような活動をどう作って行ったらいいか」、「選挙と一線を引いた九条の会の活動の延長で、改憲を止める国会の勢力図を変えられるのか」、「学習会やつどいに興味を持って初めて参加されたような人への働きかけが弱いのでは」といった問題提起がなされ、活発な議論が交わされました。

ヒバクシャ国際署名世田谷連絡会が「ヒバクシャ国際署名」と「3000万署名」で2回の団地行動

世田谷原水協代表理事 橋本 博

ヒバクシャ国際署名世田谷連絡会は、4月1日（日）と、5月13日（日）の午前、区内下馬の都営住宅と船橋のUR団地で、事前にそれぞれ750世帯、700世帯にポストイングした「ヒバクシャ国際署名」と「安倍9条改憲NO!3000万署名」の回収行動をおこないました。4月1日の行動日は、よい天気で団地のお花見が重なったこともあって留守のお宅が多かったものの、ヒバクシャ国際署名122筆、3000万署名109筆、募金3,500円が寄せられ

ました。参加者は 20 人でした。ある号棟では、扉を開けて出て来られたお隣さん同士で対話になって、お二人とも署名くださったり、ご自身の戦時体験を話して下さり、「出征したものとして、戦争反対の気持ちは強いけれど、すまないがそれだけに気軽に署名する気になれない」という 90 歳近くの男性と長時間お話しする機会があったりで、深く考えさせられる経験となりました。

5 月 13 日の行動では、回ってみると、団地の自治会が直前に話し合いをして、署名には応じないとの申し合わせをしたということでした。そのためか、16 人が行動に参加しましたが、「ヒバクシャ国際署名」は 43 筆、3000 万署名が 40 筆、募金 600 円と、ほぼ同じ規模だった 4/1 の行動の半分以上にとどまりました。

ただ、団地自治会の申し合わせがあったにもかかわらず、戸口に署名を入れた封筒を貼り出して下さったお宅、封筒に入れて手渡ししながら「ご苦労さま」と声をかけてくれたお宅も数軒ありました。

団地での署名行動は昨秋から 4 回になりますが、今回のような団地自治会の対応は初めてで、民主主義の未成熟を考えさせられ、勉強になったというのが参加者の感想でした。

これまでの団地行動の結果は次の通りです。

1 回目 2017.9.17 希望ヶ丘団地(約 700 世帯に事前にポスティング) 参加 18 人、ヒバクシャ国際署名 170 筆、募金 15,500 円。

2 回目 2017.11.12 希望ヶ丘団地(約 1000 世帯に事前にポスティング) 参加 18 人、ヒバクシャ国際署名 119 筆、募金 17,400 円。



地域教材を使って歴史認識を深める！

上田 定男

「歴史の教科書って、ウソが書いてあるんでしょ?」、「教科書に書いてあるから、本当のこととは限らないでしょ。」結構シビアなことを言う最近の中学 1 年生。そんな反抗期真っ只中の生徒たちと共に、「教科書に依拠」したり、「教科書に掲載されていない」教材を探したりして、主として中学校で社会科教師をやってきました。私に日本国憲法遵守

義務があるのは勿論ですが、「教え子を再び戦場に送らない」ための平和教育を貫いてきたと自負しています。授業では、いわゆる「教科書を教える」より「教科書で教える」を信念に実践してきました。機会があると神田の古本屋街やボロ市などに出かけ、実物資料を収集してきました。「ほら教科書にはないけど歴史って面白くないか。」とドヤ顔ができる授業が夢でした。

ソウルの安重根記念館でレプリカの掛け軸を何枚か手に入れました。芦花公園の近くのM中の中2対象の日韓併合の授業の一コマを紹介します。

「礼」「着席」の号令後、私は、約2メートルぐらいの安重根の達筆な墨書の掛け軸をなるべく高くマグネットで、黒板に止めます。すると「先生、何、始めんの？」と一番前の生徒が冷やかす。「何だ、何だ」と教室がざわめく。すぐ安重根の署名の下の手形に「ム・ム・ム。指がおかしい」と、目ざとく気づくクラスもあれば、この掛け軸に書かれた漢文「貧而無諂富而無驕」の読みくだし文を説明したりしているうちに「センセイ、薬指が短ーい」と中には反応。「キャー！」と悲鳴を上げ反応したりと大騒ぎになるクラスも。

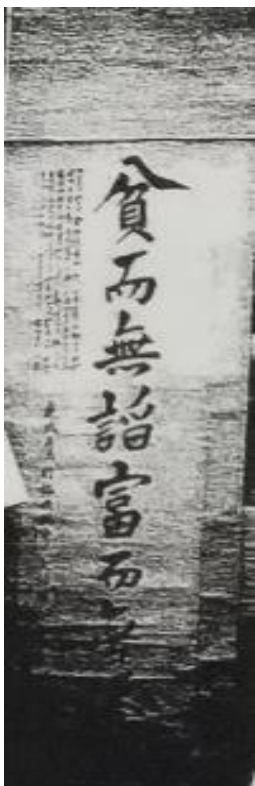
生徒の想定外のノリに「シメシメ」とほくそ笑みながら……。この掛け軸は、芦花公園の資料館の倉庫のあるもの」と説明し始めます。「なぜそこにあるのか」「安重根って知

っている?」「なぜ薬指が小指と同じ長さなのか」「断指同盟とは」「安重根と徳富蘆花の関係は?」……など。「日本では、伊藤博文は初代総理大臣で有名だが、韓国では、この伊藤博文をハルピン駅で射殺した安重根が英雄として有名」。このような全く評価が正反対の人物もいるのだということに気づかせ、歴史をみる見方、侵略された側からもみる歴史の見方もあることに気づいてもらえたら、いいなと授業を終えました。

この掛け軸を提示することによって、ただ教科書の「1905年、日本が朝鮮を保護国に」とか、「1910年、日本朝鮮を併合」という「歴史的事実」ではあるが経過を追うだけの暗記中心の平板な授業が生き生きとした授業に変化します。私にとっては多くの時間と費用を使って手に入れた努力が報われる瞬間で、まさに教師冥利に尽きます。

だからこそ、子どもたちをワクワクさせる実物教材を探したり、背景にあることを調査したりする教材研究の時間の保障することが必要で、今の教育現場にはゆとりがなさ過ぎます。

(区労連議長 世田谷在住)



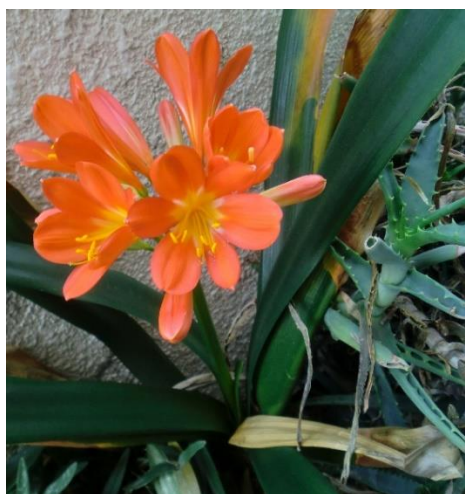
【芦花資料館の掛け軸】

「女性は土俵から降りてください」に思う

遠藤秀賢

角界は「伝統」と言うが、土俵に女人をあがらせないのは、「因習」というものでしょう。この女人禁制は、かつて比叡山もそうでした。言い伝えによると、親鸞が比叡の山に帰ろうとするとき、一人の女人に出会い、「私も山に連れて行ってください」と頼まれたが、「山は女人禁制ですからつれてはいけません」と答えた。するとその女人は「山の鳥や猪には女

はいないというのですか？」と問うた。そのことが親鸞の課題となったと伝えられています。男子も女子も人間なのです。



その同じ人間を差別するところに「作為」があるのでしょうか。そのような作為を止めて「無為」になることが大切なのではないのでしょうか。因習の話にもどれば、「三不浄」と言われるものがあります。一つは黒不浄と言って、死の穢れ4です。赤不浄は女子の周期的な出血を穢れとして恐れ遠ざけようとする。そして白不浄は産褥です。胎盤や胞衣が男にとって恐ろしかったのではないかと思うのです。この三不浄という因習によって、女性は不浄だから「神聖」なる土俵にあげないというわけでしょう。これが差別なのです。「自分は誰から生まれたのか」の記憶を呼び覚ませば、この差別がいかに不当なことか分かるというものです。

安倍政権を取り巻く復古的なものを目指す人たちには、そのバックボーンになる精神的な支えとして、かつての「国家神道」的なものを要求していることがあるのでしょうか。天下国家を語るのは男であって、おんな子どもは黙っているということがあるのでしょうか。ということですから、昭恵夫人の証人喚問などはありえないと考えている訳でしょう。「国家」と言いましたが、家がついている国なのです。patriarchy 家父長制的な家族形態に擬える国家体制ですから、ことに女性を抑圧し性差別を助長してきたことは歴史的な事実でしょう。この克服には、慙愧の念が起こるまでの徹底した差別者の自覚に由る以外にはありえません。

(常満寺前住職 北鳥山在住)

次の世代へ平和憲法を！

「デモ・スタ@せたがや」

今野 宏子

国民を欺き、嘘をつき、民主主義を踏みにじり続けている安倍政権に憲法を変える資格はありません。安倍政権を退陣させ、平和憲法を守りぬくことはわたし達の心からの願いです。

「お散歩デモ・学校スタンディング@せたがや」（デモ・スタ@せたがや）は昨年11月から、安倍9条改憲 NO!の 3000 万署名に集中して取り組んできました。月1回下北沢のオオゼキ前で、月2回ほど区内の大学を回ってスタンディングと署名活動を行ってきています。

署名は5ヶ月で735筆です。若者の行き交う下北沢でも署名に協力的なのはシニア世代の女性たち、男性の反応はいまいち。大学では相対的に男子学生の方が協力的で、女子学生は消極的です。最近外国人の署名も目立ちます。ベトナム、インド、中国、台湾等。総じて、若者たちの反応は鈍く、だからこそ、スタンディングを通して彼らに呼びかけを続けていきたいと思っています。



わたし達が街頭に立ち、大学でスタンディングを始めるようになったのは2014年、集団的自衛権の閣議決定を強行されたことへの怒りから始まりました。大学スタンディングは2015年秋、国士舘大学からスタートしました。

一部の高校を含め、区内の大学をほぼ二巡して今につながっています。お散歩デモは少しずつ形を変えながら、下北沢の“街なかお散歩デモ”として、5月には32回を数えます。

戦後70余年、日本が平和で来られたのは戦争を放棄した憲法9条があるからです。9条に自衛隊を加えることは海外派兵が目的です。日本が平和を放棄し、戦争する国になることに他なりません。そうなれば、戦前のように基本的人権や諸権利は制限され、人々が互いに監視し合う社会になっていくでしょう。若者たちはその社会を背負うことになります。

いま、学生たちの多くは奨学金を借金として背負い、社会に出ていきます。安定した仕事につけず、多くの学生たちは非正規雇用、派遣労働、さらにはブラック企業など不安定な仕事に就いています。膨大な軍事費の増加が更に人々の暮らしを圧迫しています。若者を取り巻く厳しい状況の中で、9条改憲がされたなら、次には自衛隊の募集が一段と強まるでしょう。しかし、他国の戦争のために、自分の命を危険にさらしてまで、若者たちは自発的に自衛隊を将来の進路として選択するでしょうか。厳しことだと思います。そして、その先に徴兵制が頭をもたげてくるのではと危惧されます。

先日、署名してくれた学生が「僕たちもやらなければいけないと思う」と話してくれました。嬉しかったです！若者たちが自分の将来の事とつなげて、9条改憲の危険性について、友人たちともっと、話し合ってもらいたいと思います。

わたしは先の戦争の体験者の一人です。5歳になって間もなく、杉並で B29 の爆撃を受け、家を壊され、避難していた庭の防空壕がつぶれて、幼い弟と母子 3 人が生き埋めになりました。昭和 19 年 11 月のことでした。土の中から引きずり出された時、2 歳だった弟は人事不省、わたしも耳も鼻、口にも泥が詰まり、やっと息ができる状態でした。九死に一生を得たあの日のことは幼いわたしの脳裏に焼き付き、いまなお鮮明に記憶しています。戦争がいかに残酷であるか、あの幼い日の体験がいまのわたしの原点になっています。

次の世代に、平和憲法を手渡すため、戦争を放棄した 9 条を守り抜くことは 80 歳を前にしたわたしの人生で、最後の大きな宿題だと思っています。



敗戦時の思い出

安部 愼三

私の戦争の思い出は、5月25日夜半の山手大空襲である。焼夷弾が無数に落とされ、私は油の焦げる臭いの中を近所の家の大きな防空壕の中に逃げた。夜は焼夷弾の美しい火の軌跡に驚嘆した。

大原の焼け跡をみて、戦争には負けるべきだと子供心（私は1941年－昭和16年－に生まれた）に思っていたが、大変なことになったと思ったし、鉄骨だけとなった新宿駅のプラットホームにいる多数の黒人兵の黄色い歯を見て、父の影にかくれた。天皇の自決の新聞記事がなかなか出ないので不思議であった。敗軍の将は自決が普通と思っていたから。私は毎日ラジオ放送を聞いていたから敗戦に近いことも、終戦の天皇の声も聞いていた。



私は疎開から家に帰った日に、家の前の通りで、誰もいないことを確かめてから、戦争が敗戦で終わったことを喜んで「ばんざい」と叫んだのだった。（北沢在住）

思い出すままに（3）英語教育について考える（2）

楠見宏義

私は英語の教師であったわけですから、もう一つ英語の話題にお付き合い願います。水泳指導に比べれば、歌の指導の方がよっぽど上手だと自認しているわけですが、最初に子どもの前に立つ時に、どうも授業の「出だし」のところがしっくりいかない。何かないかなと考えている時に、歌をやってみたらと思いつきました。

中学一年生の場合、最初にアルファベットの発音と正しい書き方をやらなければならないわけですが、私はこれに歌を交えてやることにしました。

Aはエーではなくエーイ、Bは口を尖らせてビー、Cはシーでなくてスィー、Dはデーではなくてディー、Eは口を横に引っぱって、いじめっ子みたいにイー、という具合に生徒の発音を修正していく。これを毎時間繰り返す、覚えてもらう。もちろん一通りできるようになったらこれを歌で、かの有名なABCの歌でやる。発音が難しいので子どもたちは夢中になってついてくる、という作戦でした。

一か月もたてばもう十分。次の歌に行く。簡単な歌から、段々難しい歌へ、そして一学期の最後を飾るのが「線路は続くよどこまでも」（I've been working on the railroad）というわけなのです。

それから 30 数年後、生徒もそして私も、随分年をとってしまったわけですが、久しぶりに同期会をやるとういうことになって 100 人以上が集まりました。参加した先生方が次々に挨拶し、私の順番に回ってきました。いつものように Good morning, boys and girls と言うと、Good morning, Mr. Kusumi という返事。それで、「みんな歌でも歌いましょうか」とうながすと、大合唱が始まりました。みんな忘れていなかったのですね。あの中学一年生の一学期にならった I've been working on the railroad のことを。



これで歌の持つ「力」は明白になりました。私の場合は三年間続けて持つことが普通でしたので、約 100 曲ぐらいはやりました。最初のうちは Brothers Four など 3 年生ではやりましたが、だんだん生徒の好みも変わってきて、Beatles や Carpenters もやりました。Beatles は、最初は騒がしいばかりと避けてきましたが、生徒といっしょに歌っているうちに、だんだん慣れてきて今はとても好きです。そういう意味では生徒が私の先生だったのかと思います。(次号につづく) (区労連顧問)

本棚

○ 魂鎮への道 BC 級戦犯が問い続ける戦争 飯田進著 岩波現代文庫 (2009)

ニューギニア戦線に送られ、戦後 BC 級戦犯に問われた著者が、現地で体験した戦争を、意を決して詳細に語る。戦争犯罪はどういう状況下で生まれたのか。敗戦後どう裁かれたのか。戦犯法廷というと A 級戦犯の東京裁判だけが注目されがちだが、戦後アジア現地で BC 級戦犯が知られないままに処刑・処罰されていたことを知った。上官の命令で犯した犯罪を問われて処刑された「私は貝になりたい」(フランキー堺主演 1959) を思い起こす衝撃だった。先日 NHK が放送した「NHK スペシャル ドキュメント太平洋戦争 ビルマ・インパール」では、無謀で無責任な戦争指揮が指弾されていたが、同じことがアジア各地であって、多くの兵士が犯罪に追い込まれ、餓えと病で命を落としたという。戦争とはどれほど人をさげすみ、人であることを失わせるものなのか。改めて戦争につながる安保法制や自衛隊の海外派遣、そして憲法 9 条の改悪を、あの国会でせせら笑いを浮かべながら、嘘の答弁を繰り返す現政権にゆるすわけにはいかないと強く思った。(1,300 円)

当面の行動予定

- 6月1日(金) 18:00～ 九条の会東京連絡会主催 6.1 大集会 @中野ゼロホール
講演：中野晃一さん「『戦争する国』ゴメン。この国の『異常』を正そう」
文化行事：漫才 おしどりマコ&ケン
ピアノ・バイオリン二重奏 清水智子さんと石井夕紀さん
*入場券は事務局でも扱っています。ご連絡下さい。
- 6月3日(日) 若者憲法集会 10:30～ 都内各地で分科会、13:30～ メイン集会
@上野公園野外ステージ 16:00～ @新宿中央公園からデモ行進
- 6月5日(火) 18:30～ オスプレイ飛ばすな！6.5 首都圏行動 @日比谷野音 その後銀座デモ
- 6月10日(日) 新潟県知事選挙投開票日
- 6月20日(水) 通常国会最終日
- 6月24日(土) 13:30～16:30 @世田谷区民会館 講演 前文部科学事務次官 前川喜平さん「こども・いのち・きぼう」－教育行政の現場から”学び“の現場へ－
(世田谷こどもいのちネットワーク総会に引き続き開催)
- 9月6日(木) 18:30～ 戦争させない！九条こわすな！世田谷連絡会学習会、@東京土建世田谷支部会館 講演 総がかり行動実行委員会 菱山南帆子さん 「改憲阻止のたたかいと全国市民アクションの役割(仮題)」
- 9月29日(土) 10:00～ 世田谷区民集会&パレード @世田谷区民会館中庭 戦争させない！九条こわすな！世田谷連絡会



編集後記

☆ 森友・加計疑惑で窮地に追い込まれた安倍内閣は、シラを切り続け、依然として憲法九条改悪をはじめとした悪法強行への意欲をむき出しにしています。自己保身のためなら隠す、嘘をつく、嘘がバレ(そうになっ)たら、他人のせいにする、公文書でも改ざんする。このような醜悪な政治をそれでも支え続ける自民、公明、維新の議員の面々にはあきれ

ばかりです。こんな政治には早くピリオドを打って、誰もが納得し、正義が通じる社会を取り戻しましょう！

☆ 5月26日（土）、沖縄辺野古新基地建設反対の集会が国会周辺で開かれました。日米地位協定が憲法の上にある、その最たるところが沖縄と言われています。辺野古は軟弱地盤で活断層も走るところと紹介されました。このために、この7月にも大量の土砂と構造物がジュゴンの棲むサンゴ礁に投入されると言います。しかもその費用は、日本政府がわたしたちの納めた税金で負担するのです。参加者数1万人ということでしたが、「もっと集まっても」と感じました。

☆ 「働き方改革」法という名の「働かせ放題」法。ここでも杜撰（ずさん）なデータが指摘され、裁量労働制は削除されました。しかし「高プロ」という限定つきでこの芽は残されています。誰もが健康で、公私ともに充実した生活を送れる労働条件は、社会の根幹をなすものです。「過労死」ということばを二度と聞きたくありません。

☆ 3000万統一署名は、5/3集会で1350万と報告されました。2000万署名の時に比べて難しいと感想がもらされる中、大きく変わったのは「対話」が重視されたことです。街頭でも団地でも、不戦や憲法9条の意味を議論する姿が見られました。署名活動はまだ続きます。民主主義の基礎である世論を盛り上げ、最後の最後までやり遂げましょう。

☆ 今年秋の世田谷・九条の会「13周年のつどい」の会場が11月に確保できました。どなたの、どんな内容の話が聞きたいか、どんな文化行事を期待するか、ご要望がありましたら、事務局までお知らせ下さい。

☆ 世田谷・九条の会は、皆さまからの寄金で事務所維持、ニュースの発行、ホームページの運営をしています。印刷と郵送費相当（年1口1000円）でも結構ですので、皆さまのカンパをお願いします。

☆ ニュース原稿をいつでも募集しています。次号は2018年8月に発行予定です。800～1000字程度で、メールまたはFAXでお寄せください。最近読んだ本の感想、皆さんに勧めたい本の紹介も歓迎です。

